

# 河川における取り組み事例【和賀川(北上市):樹木伐採】(3/3)

●位置、写真：



国・県 連携

【伐採状況写真】（県）



実施前



実施後

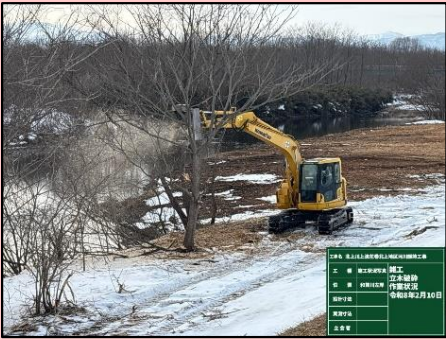
【伐採状況写真】（国）



実施前



実施後



作業状況

# 河川における対策の取り組み事例【秋田県：雄物川下流、子吉川】

## ① 河川管理用通路の通行止措置



- ・クマ目撃情報が相次いだことを受け、河川管理用通路を通行止
- ・河川公園の利用者や釣り人が、クマと接触するのを防止

## ② 河川敷の刈払い[河川管理者]



- ・市街地に近接の河川敷で、刈草等を刈払い（ブルドーザーによる踏み潰し）

## ③ 河川敷の刈払い [隣接事業者]



- ・河川敷に隣接する工場構内でクマが出没
- ・事業者が自ら、工場に隣接する河川敷の草本類を刈り払い（河川管理者に作業届出の手続き、速やかに対応）

## ④ 許認可の簡素化 [箱わな設置]



- ・市町村からの河川への箱わな設置については、占用手続きを簡素化（届出即日受理）

## 1. クマ被害対策パッケージ(概要)

## 2. 【事例紹介】

河川におけるクマ対策の取組  
(岩手県、秋田県)

## 3. 【事例紹介】

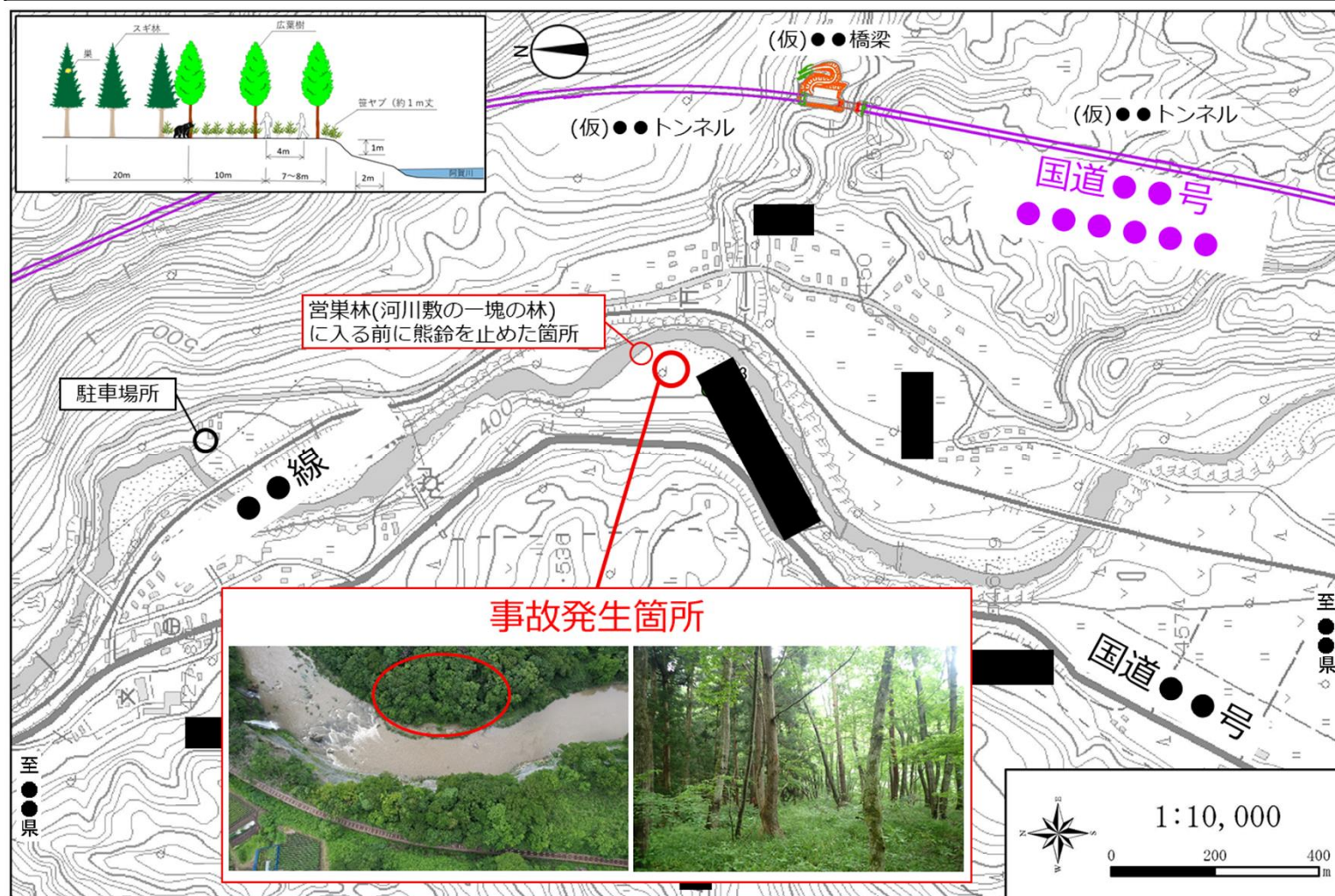
工事現場等におけるクマ対策の取組

# 令和7年度 東北地方整備局における工事等事故発生状況(7月:クマ被害)

## 【R7年度@事故発生事例】猛禽類調査中にクマに襲われた

| 発生年月日       | 発生時刻   | 起因者／被災者                        | 被害状況                                                             |
|-------------|--------|--------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| R7.7.14 (月) | 8時30分頃 | ツキノワグマ／<br>調査員2名<br>(ともに30代男性) | 調査員A：額のひっかき傷3箇所、右太もものかまれ傷1箇所<br>調査員B：左手首のひっかき傷1箇所、右ふくらはぎのかまれ傷1箇所 |

猛禽類の繁殖状況確認のため、調査員2名で営巣木に向かっていったところでクマに遭遇。先頭にいた調査員Aを襲ってきたため、後方の調査員Bが熊めがけて熊撃退スプレーを発射したところ、今度は調査員Bを襲ってきて、2名が負傷したもの。



### 【主な原因】

●熊対策として移動中は熊鈴を使用していたものの、営巣木付近では、猛禽類に気付かれないように熊鈴の使用を止めていたことで、熊対策が実行されていない状況となっていた。

### 【再発防止対策】

●UAV飛行困難など、近接調査が必要な場合熊忌避剤、獣除け線香など、音の代替えとして、匂いによる対策を実施。

※猛禽類への影響を考慮し、引き続き営巣近くでは熊鈴は使用しない

### 【その他】

●熊の目撃場所など、営巣木に近づけない場合、以下を検討する。

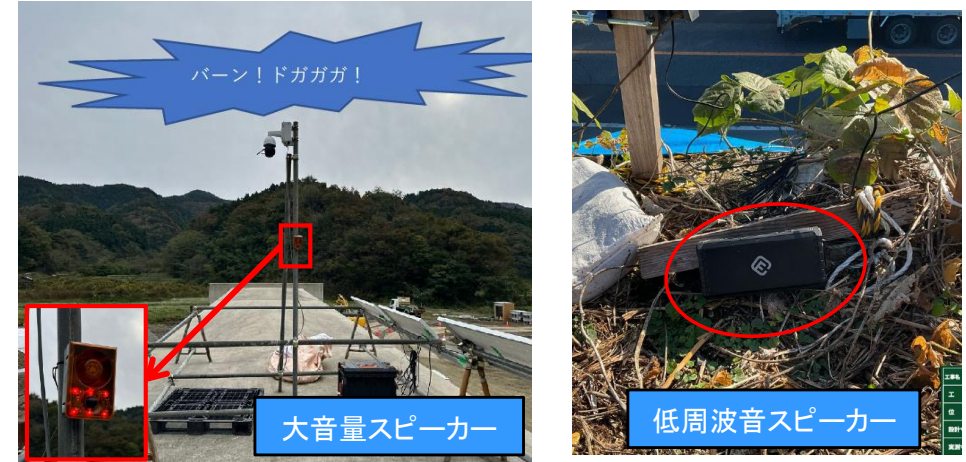
- ①望遠鏡等による遠方目視
- ②UAV+赤外線サーモカメラによる熱源感知調査

背景

- 東北地方整備局管内ではクマの出没が増加
- 工事現場等における安全確保が重要
- 工事現場等におけるクマ被害の未然防止を推進

① スピーカー 【音による警戒】

- ・ 常時、夜間のみなど、大音量スピーカー等を活用
- ・ 人の存在を知らせ接近を抑制（現場条件に応じて設置）



② 忌避剤（狼尿等） 【匂いによる対策】

- ・ 狼尿等の忌避剤を活用
- ・ 現場周辺への侵入抑制（比較的導入しやすい対策）



③ U A V 【遠隔確認】

- ・ U A V により周辺状況を確認
- ・ 人が立ち入る前の安全確認に活用（現場での活用事例が増加）



④ 熊スプレー噴射訓練 【教育・訓練】

- ・ 万ーに備え、熊スプレーの使用方法や噴射距離を体験



対応

- クマ対策事例集を作成
- 熊スプレー噴射訓練などの安全教育も実施
- 受発注者・自治体等へ共有
- 現場の創意工夫を横展開